

# 高雄だより 臨時特別号



令和6年2月  
京都市立高雄小学校  
校長 坪内 昌子

ひと雨ごとに暖かさが増すこの季節になってまいりました。日頃、本校の学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。12月に実施いたしました「令和5年度後期学校評価」の結果をご報告いたします。

本校の教育目標「仲間とともに高め合い 未来に向かって たくましく生きる子の育成」に向けて成果と課題を検討し、教育活動の改善等へつなげてまいります。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いたします。



## 確かな学力の育成

### わたし(わが子、児童)は、学校の授業がわかっています

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	56%	36%	8%	0%
	後期	67%	30%	3%	0%
児童 高	前期	63%	34%	3%	0%
	後期	77%	20%	3%	0%
保護者	前期	14%	75%	11%	0%
	後期	21%	69%	9%	1%

### わたし(わが子、児童)は、宿題や明日の準備を自分からしています

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	64%	28%	8%	0%
	後期	73%	27%	0%	0%
児童 高	前期	62%	21%	17%	0%
	後期	60%	27%	13%	0%
保護者	前期	34%	39%	22%	5%
	後期	34%	49%	13%	4%

### わたしは、自主学習に取り組んでいます

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 高	前期	58%	21%	21%	0%
	後期	67%	27%	6%	0%

#### ◇「わたし(わが子)は、学校の授業がわかっています。」

低・高学年共に「よくできている」「できている」の回答が95%を超えています。また、前期に比べて、「よくできている」の割合が増加していることから、学習の内容を理解し、自信が持てるようになった児童が増加しているといえます。つまずきを放置せず、基礎基本の定着を図る帯時間の学習等での細やかな指導の成果が表れているといえます。授業が分かることは、進んで学習にのぞむ学習意欲に繋がります。「あまりできていない」と答えている若干名の児童も、意欲をもって学習にのぞめるよう指導を進めていきます。

#### ◇「わたし(わが子、児童)は、宿題や明日の準備を自分からしています」「わたしは、自主学習に取り組んでいます」

前期の結果とくらべると、低学年は、家庭学習の習慣が身につく、高学年も改善していると言えます。このことを前項の「授業が分かっている」の回答結果と照らし合わせると、学校での学習は家庭学習と連動して、その基盤が培われることが推測されます。

また、高学年の「わたしは、自主学習に取り組んでいます」は、前期と比べて大幅に改善しました。学校では、担任が自主学習の内容の相談に乗ったり、見本を掲示したり、毎日のノートにコメントを記入したりすることで、学習の内容も充実してきました。前期にもお伝えしたように現在の子どもたちには、主体的に課題を設定し、粘り強く取り組み続ける中で自己の学習活動を振り返って次につなげる自己調整力が大切です。自主学習は、そうした力を育成するためにも益々充実させていきたい学習です。子どもたちが、自ら課題を設定し、自分に合った学習方法を選択できるように、また、学習意欲を持続させることができるように、少人数の強みを生かして、子どもたち一人一人の学習を見取り、支援していくよう努めていきます。

## 豊かな心の育成

わたしは、学校で楽しくすごしています

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	85%	10%	5%	0%
	後期	78%	19%	3%	0%
児童 高	前期	72%	28%	0%	0%
	後期	80%	17%	3%	0%
保護者	前期	57%	39%	3%	0%
	後期	64%	34%	1%	1%

わたしは、自分には良いところがあると思います

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	64%	28%	5%	3%
	後期	57%	19%	5%	19%
児童 高	前期	49%	31%	17%	3%
	後期	47%	40%	13%	0%

\*前期「わたしは、自分のことが好きです」という質問項目から変更。

◇「わたし(わが子、児童)は、学校で楽しくすごしています」

前期は、低学年は95%、高学年は100%、後期は、低学年が97%、高学年が97%の児童が「よくできている」「できている」と回答しています。前期に続き多くの児童が、学校で過ごす時間を楽しんでいるのは素晴らしいことですが、後期は、低学年の「よくできている」が85%から78%に減少し高学年は、3%の児童が「あまりできていない」と回答しました。子どもたちの日々の様子や変化を見逃さず、子どもたちが安心して過ごし、「学校が楽しい」と思えるような人間関係形成や、授業をはじめとした様々な場面で一人一人が活躍できる学級経営を目指します。

◇「わたしは、自分には良いところがあると思います」

低学年は24%の児童が、高学年は13%の児童が「あまりできていない」「できていない」と回答しました。中でも低学年では、19%の児童が「できていない」と回答しています。自分で「自分の良い所」を見つけようとする、人と比べて優れている所を探しがちでなかなか思い浮かばないようにです。子どもたち同士が友達の良さを認め合い伝え合う場を学校生活全体を通して大切にしていきたいと思います。また、学校行事や学級活動を通して自己有用感を高めるとともに、キャリアパスポートを活用して自己の成長を確かめられるようにしていきます。保護者の皆様からも子どもたちの良さや成長したところを子どもたちに伝えていただければと思います。

## 健やかな体の育成

わたしは、外で遊んだり、体を動かしたりしています

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	87%	10%	0%	3%
	後期	89%	3%	0%	8%
児童 高	前期	69%	24%	3%	0%
	後期	73%	23%	3%	0%

◇「わたしは、外で遊んだり、体を動かしたりしています」

低学年、高学年ともに90%以上が「よくできている」「できている」と回答しています。実際に、中間休みや昼休みには、教師も交え、学年を超えて遊ぶ姿が見られます。外遊びは、健康な体づくりはもちろん、友達の輪を広げたり、高学年がリーダーシップを発揮する人間関係形成の場にもなったりしています。時には教師が、声をかけたり、子どもたちを引き入れたり、一緒に遊ぶ中で望ましい人間関係が築けるように支援をしています。また、毎年、体力テストの結果が全市でも上位に位置しているのは、毎日の登下校と外遊びによって培われた体力や運動能力によると言えます。これからも、外遊びを通して体力づくりと望ましい人間関係作りを目指します。

## 学校行事・小中連携・地域との連携・情報発信

わたしは、学校の行事にすすんで取り組もうと思います。

		よくできている	できている	あまりできていない	できていない
児童 低	前期	77%	13%	8%	3%
	後期	81%	11%	3%	5%
児童 高	前期	63%	34%	3%	0%
	後期	71%	21%	8%	0%

◇「わたしは、学校の行事にすすんで取り組もうと思います」

前期に比べて「よくできている」という回答が低学年は、77%から81%に、高学年では、63%から71%に増加しました。このことから、2学期の行事が児童にとって充実したものであったため、行事に対する意欲や期待が大きくなったのだろうと推測されます。運動会では、一人一人が達成感を感じ、児童劇や落語の鑑賞では、子どもたちの感性を揺さぶる豊かな時間がもてたようです。これらの経験がこのような結果につながったと思われます。しかし、低学年、高学年共に8%の児童が「あまりできていない」「できていない」と回答しています。どの児童も、達成感や充実感が持てるように、一人一人の活躍できる場を設定し、成長したことに対するフィードバックが図れるようにしていきます。